

各地の中学校から板野高校に入学した高校1年生が、板野町の魅力を知り、それらを発信するために活動を開始！

はじめに2年生の先輩が昨年度の活動内容をスライドで発表。先輩達がフィールドワークで学んだこと、これからの課題点等を具体的に知り、今年度は板野町の魅力発信のために、自分たちで何をしたいか考えることができた。



らーんずita農のみなさんと
板野町魅力発見
プロジェクト
SDGs No.12 ~つくる責任・つかう責任~
について考える

板野高校1年生

×

板野町魅力発見発信プロジェクト

1. 板野町の魅力について



2. ●板野町は、昔から豊かな自然に恵まれた場所
●「らーんずita農」では、サイクリングマップやスタンプラリーなど「板野町に行ってみたいな」と思ってもらえる活動をしている。
●川、山、道、寺班に分かれて、各班の具体的な活動の確認と班内での役割決めを実施。



川（第十堰）、山（高尾山）、道（道の駅いたの）、寺（3～5番札所）について、板野町の魅力をたくさんの人に伝えるためにはどうすれば良いか、話し合って意見を深め、高校生としてのメッセージを考える。プロジェクトMAP、リール動画、ポスター、レポートなど様々なかたちで板野町の魅力を発信！



3. 板野町魅力発見プロジェクト発信



川班は第十堰、山班は高尾山、道班は道の駅いたの、寺班は3～5番札所でフィールドワークを行った。それぞれの場所で貴重なお話を聞いたり、リール動画作成のための写真を撮影することができた！板野町の自然や特産品、文化について自分たちの目で見て感じ、魅力を発信するためにはどうすれば良いか考えることができた！



らーんずita農×道の駅いたの×板野高校1年生 板野町魅力発見発信プロジェクト！フィールドワーク



山（高尾山）

高尾山は板野町北部にある標高216Mの山です。登山道はよく整備されており、途中の休憩所や山頂にはベンチが設置されていてゆったりとしたハイキングが楽しめます。山全体は豊かな自然に囲まれ、年間を通して多くの野鳥にも出会うことができます。また、晴れた日の頂上からの眺望は素晴らしく、板野町内をはじめ徳島平野を一望することができます。さらに、隣の藍染山（413M）や万石山（369M）、千石山（276M）まで足を伸ばせば充実した山登りができることでしょう。



川（第十堰）

「吉野川第十堰」は、河口より約14キロ上流、上板町と石井町の間に造られた固定堰です。江戸時代中期に農作業用の水を確保するために造られ、その後も補強されながら現在の姿に至っています。現在も、徳島市の水道や農業を支えており、また春になると鮎が遡上してくるなど綺麗な水が流れています。全長750Mもある広大で美しい景色とすぐ近くで見ることのできる川の流れの迫力に圧倒されました。いつも何気なく通っているけれど、今回のフィールドワークで第十堰の歴史や役割を知り、よりもっと魅力を県内外問わず様々な人に発信していきたいと思います！



寺（金泉寺・大日寺・地藏寺）

板野町には3つの札所があることをみなさんはご存じでしょうか。源平合戦の折、弁慶が源氏の軍の士気を高めるため持ち上げたといわれる巨石がある第三番札所の金泉寺。本堂と大師堂との渡り廊下に並ぶ33体の観音菩薩が美しい第四番札所の大日寺。境内中央に立つ樹齢800年の大銀杏の巨木、また、木造で日本最大といわれる、さまざまな表情を浮かべた等身大の五百羅漢像が納められている第五番札所の地藏寺。素敵なお遍路さんにも出会えるかもしれません。ぜひ参拝してみてください！



道（道の駅いたの）

道の駅いたのは、四国地方ナンバー1のチェックインランキングを誇る「未来志向型道の駅」です。この日は、はじめに小川駅長さんから道の駅の概要や商品について教えてもらった後、グループに分かれて施設内を見て回ったり、インタビューしたりしました。地元の特産品である春にんじんや桃を使ったソフトクリームやドレッシングなど、限定オリジナル商品を開発し、店内でポップの表示や陳列台の高さまで工夫、計算して販売していることを知りました。また敷地内には地元食材を楽しめるレストランや、近くの温泉施設から直接ひいた足湯、ドックランなどの施設もあり、板野町の地域創生の交流拠点として、様々な視点から貢献するために整備されていることを知りました。

